

GIS教育実践アワード 2024

～初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰～

募集期間

2024/7/1(月)～8/31(土)

17:00必着

趣旨

日本学術会議からの提言や学習指導要領などでは、初等中等教育現場においてGIS(地理情報システム)を実践的に活用した授業の展開が求められています。とりわけ高等学校の必修科目「地理総合」において、GISを活用する能力の習得が明確に位置付けられています。こうした中、地理情報システム学会では、教育現場でのGIS活用の普及・展開の契機として、授業計画やその実践においてGISを活用した優良事例を表彰しています。

応募資格

国内の初等中等教育現場において、GISを実践的に活用した授業に取り組んでいる個人(教員以外の方も含む)またはグループ。
※過去に受賞経験がある場合でも、別の取り組みであれば応募可能です。
※未実施の授業計画やアイデア段階のものでも、授業・教材として活用可能な水準を満たしていれば審査の対象になります。
※地理情報システム学会の会員であるか否かは問いません。

応募方法

必要事項を記入した申請書と必要な資料等を添付して、地理情報システム学会内「GIS教育実践アワード」事務局宛にメールでご応募ください。
※取り組みの特徴の分かる地図は必ず添付してください。

詳細は募集要領をご覧ください。

<https://www.gisa-japan.org/awards/post-1.html>

選考方法と表彰

地理情報システム学会、国土交通省、文部科学省から構成(予定)する審査委員会によって選考します。選考は、GISの効果的な活用の観点、地図の効果的な利用の観点等を総合的に審査します。選定された方には、事務局より直接ご連絡をいたします。
10月に開催される「第33回地理情報システム学会学術研究発表大会」内にて表彰式を執り行い、事例発表も行っていただく予定です。

問い合わせ先

一般社団法人 地理情報システム学会内
「GIS教育実践アワード」事務局

✉ maf-gisa@mynavi.jp

Source: Esri, GEBCO, DeLorme, NaturalVue

主催：一般社団法人 地理情報システム学会

後援：国土交通省、一般財団法人 日本地図センター、ESRIジャパン株式会社、

一般社団法人 人文地理学会、日本地図学会、公益社団法人 日本地理学会、毎日新聞社
(予定を含む)

